

## フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団 派遣に伴うご案内

時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜り厚く御礼申し上げます。

近年、東南アジア地域をめぐる安全保障環境が一段と複雑化しており、南シナ海・東シナ海を中心とする海洋権益の問題、サイバー・電子戦・情報監視能力（ISR）の重要性の増加、さらには防衛・技術協力の多角化を図る動きがフィリピン・ベトナム双方で顕著です。日本は「自由で開かれたインド太平洋」構想のもとで、防衛装備・技術協力や防衛装備移転制度の活用を通じ、関係国との協力を強めています。

ベトナムとは、2023年に「包括的戦略的パートナーシップ」を締結し、防衛協力・装備品移転・サイバー・軍事訓練等の分野で協調を拡大中。フィリピンとは、日本との防衛装備・技術移転協定が成立し、沿岸監視、哨戒艇、海上警備、電子戦 装備の導入に際し日本の技術・部品の採用可能性が高まっています。

このような情勢を背景に、フィリピン及びベトナムにおける防衛装備・部品・サービスの現地ニーズ、サプライチェーンの現状および強化可能性を、政府機関・軍高等教育・技術研究機関・現地企業を直接視察・議論することで日本側の技術・製品がどこにマッチできるかを明確化し、将来の協業・納入可能性を探ることを目的とします。

ご参加頂ける場合は、以下のものを一般社団法人日本技術者連盟宛て

E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送り下さい。

尚、お申し込み締切は**2025年11月5日（水）**と致します。

1. 本ご案内、最終ページの参加申込書（必要事項をご記入ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー  
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

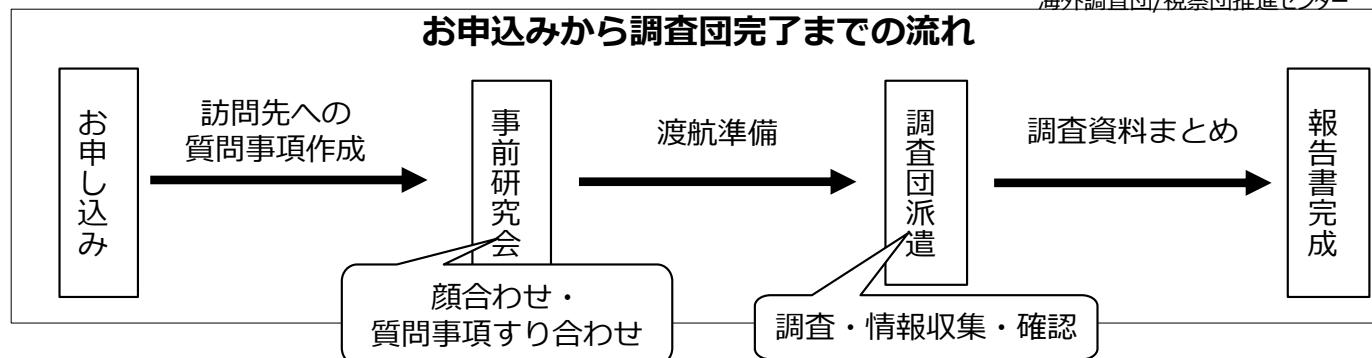
※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

### 【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。  
また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟  
海外調査団/視察団推進センター

### お申込みから調査団完了までの流れ



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

# フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団

## 参加要項

1. **テーマ**：フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団
2. **期 間**：2025年12月16日（火）～12月21日（日）6日間
3. **主 催**：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. **後 援**：一般財団法人防衛技術協会（ご依頼中）
5. **団 長**：

### ● 宮川 真喜雄

元駐マレーシア特命全権大使、  
前内閣官房国家安全保障局国家安全保障参与。



- 1974 年東京大学工学部航空学科宇宙コース卒。
- 1989 年オックスフォード大学国際政治学博士号取得。
- 1976 年運輸省入省。
- 1979 年外務省へ移籍。総務課法令班長、内閣官房副長官秘書官、北米第二課及びロシア課首席事務官、経済局開発途上地域課長及びアジア大洋州局地域政策課長、日本国際問題研究所所長、在ジュネーブ日本政府代表部大使、気候変動交渉担当大臣官房審議官、軍縮不拡散科学部長、日米原子力協力大使、中東アフリカ局長兼アフガニスタン・パキスタン政府特別代表、駐マレーシア特命全権大使、国家安全保障局国家安全保障参与を歴任。
- 東京大学及び政策研究大学院大学で客員教授。著書：「Do Economic Sanctions Work?」（Macmillan 社）、「経済制裁」（中央公論社）、訳書：「同盟の力学」（東洋経済新報社）、その他論文多数。
- 2014 年 フランス国家功労勲章コマンドゥール受章  
(L'Ordre National du Mérite au grade de Commandeur)

### 6. 調査項目：

- ①日本の防衛製品やサービスに対する需要と現地の持続可能な支援体制を調査
- ②アジアにおけるサプライチェーン強化のパートナー探索
- ③防衛関連技術や教育機関を含む現地ネットワークを用いたビジネススキームを実践
- ④2023年日越、日ベトナム協力の新段階に基づく「包括的戦略的パートナーシップ」を育成し、日本製品の定義と展開可能性を調査。
- ⑤フィリピン及びベトナムとの防衛技術協力は実際の防衛装備品のニーズをベースに、周辺国も含めた推進の可能性を繰り返し込むことで強化。

# フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団 派遣に伴うご案内

## 7. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

## 8. 募集人員：10 名

## 9. 参加費：¥800,000-（税別）

## 10. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

## 11. ホテル：一人部屋

## 12. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

## 13. 運営実施/旅行取扱：観光庁長官登録旅行業者

## 14. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、 **2025年11月5日（木）までに**、E-mail ([gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)) にてお申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー  
(パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください)
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも可能）

## 15. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より 請求書をご送付申し上げます。 期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940  
E-mail: [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)  
URL: <http://www.jef-site.or.jp>  
URL: <https://www.wkx21c.org>

「フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団」



日程表



2025年12月16日（火）～12月21日（日） 6日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	12/16 (火)	羽田発 マニラ着	JL077	01:50 05:45	羽田国際空港 出発 マニラ空港 到着	機内食
2	12/17 (水)				①Department of National Defense (DND) ②Philippine Aerospace Development Corporation (PADC) ③Philippine Defense and Security Suppliers Association (PDSSA) 他	機内食 昼 ○ 夕 ○
3	12/18 (木)	マニラ発 ハノイ着	PR593	10:50 13:30	マニラ空港 出発 ハノイ空港 到着	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	12/19 (金)				①Ministry of National Defence (MND) - Bộ Quốc phòng ②Z111 Factory (Tổng Công ty Z111) ③Vietnam Association for Supporting Industries (VASI) 他	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	12/20 (土)	ハノイ発	JL752	23:55	ハノイ空港 出発	朝 ○ 昼 ○ 機内食
6	12/21 (日)	羽田着		06:55	羽田空港 到着	

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

JL=日本航空

PR=フィリピン空港

## 訪問先及び概要(予定案)

### ■ フィリピン (Philippines)

#### 1. Department of National Defense (DND)

所在地：Camp General Emilio Aguinaldo, Quezon City, Metro Manila

役割：フィリピン国防政策の立案と管理。装備調達を含む。

特徴：近年日本との防衛協力を強化中。防衛装備移転協定締結済み。

日本との関係：2023年に日比防衛装備・技術移転協定署名。海上監視レーダー、パトロール艇等に関心。

#### 2. Philippine Aerospace Development Corporation (PADC)

所在地：Pasay City, Metro Manila

特徴：防衛航空機・ヘリコプター整備、部品製造の国営企業。

連携先：ASEAN内他国、韓国、インドなどとも連携を模索。

#### 3. Philippine Defense and Security Suppliers Association (PDSSA)

所在地：Taguig City (推定)

特徴：防衛・警察装備品の現地商社や供給業者が加盟。

活用方法：現地代理店・販売網の確保・展示会共催に有用。

### ■ ベトナム (Vietnam)

#### 1. Ministry of National Defence (MND) - Bộ Quốc phòng

所在地：7 Nguyen Tri Phuong St, Ba Dinh District, Hanoi

特徴：国防政策と軍事装備の最上位機関。

日本との関係：防衛装備・技術協力を2021年以降強化中。

#### 2. Z111 Factory (Tổng Công ty Z111)

所在地：Thanh Hoa省

特徴：ベトナム国営防衛企業最大手の1つ。武器、弾薬等を製造。

訪問価値：生産ラインや協業提案に有望。

#### 3. Vietnam Association for Supporting Industries (VASI)

所在地：Hanoi

特徴：支援産業（部品・部材製造）の中小企業団体。

活用方法：防衛品目の現地調達・部品供給網の開拓に有効。

フィリピン側:研究所・軍教育機関（下記より1ヶ所訪問予定）追加資料

名称	所在地	機能・特徴	なぜ訪問価値があるか
National Defense College of the Philippines (NDCP)	Quezon City, Metro Manila (Camp General Emilio Aguinaldo)	国防・安全保障政策の高等教育・研究機関。国家安全保障管理、危機管理、戦略研究等。修士課程あり。	日本の防衛戦略・政策装備ニーズを理解する上で政策層との対話が可能。人材育成・教育協力の候補。
Philippine Military Academy (PMA)	Baguio City	陸海空統合の将校養成校。軍事戦術、指揮統制、軍事科学教育を含む。	将来のオフィサー層との接点を持つ。教育機器、シミュレーター、指揮・統制システム等の紹介先として有効。
AFP Command and General Staff College (AFPCGSC)	Quezon City	中高級将校を対象とする戦略・統制・作戦・指揮教育を行う。統合参謀的役割。	日本のC2(指揮・統制)、ISR、電子戦、サイバー訓練設備等に関して協業可能性あり。
Advanced Science and Technology Institute (ASTI)	Quezon City, Metro Manila	情報通信技術、マイクロエレクトロニクスの研究開発。国家のICT政策の一部。	電子戦、通信装備、センサー等の部品・ソフトウェア技術とのマッチング可能。防衛分野の技術研究機関として注目。

● ベトナム側:研究所・軍教育機関(下記より1ヶ所訪問予定)

名称	所在地	機能・特徴	訪問価値
Vietnam National Defense Academy(ベトナム国防大学)	ハノイ	軍事教育の高等教育機関。将校・軍幹部教育、戦略・防衛政策教育を含む。	政策・教育レベルでの協力可能性。教育プログラム・シミュレーション演習等視察価値あり。
ミリタリー工業研究所(General Department of Defence Industry (GDDI)傘下の研究センター等)	ハノイ	防衛工業の研究・設計・試験施設等を含む。光学、電子、車両、弾薬、材料技術など。	技術仕様・試験施設の現地設備状況確認、日本製部品／材料の導入可能性を探る。
Viettel Institute(もし存在すれば)／Viettel 内部の研究部門	ハノイ	通信・電子装置開発部門を持つ国営企業。軍・防衛通信、ドローン、遠隔監視などの研究開発能力あり。	日本企業の通信／センサー技術、装備品の協業先として使える可能性。



## 参加費に含まれるもの

### I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

### II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

### III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

## 参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

## お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**30万円（消費税別）**及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：**50万円（消費税別）**
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## その他

◆参加費は、2024年2月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

## 参加における注意事項

### I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- a. 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- b. 飛行機が遅延した際の費用保障
- c. 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

### II) パスポートとビザについて

訪問国がシェンゲン協定加盟国の場合、加盟国に入国する際に必要なパスポートの条件は以下となります。

- a. パスポートの残存期間が出国予定日から3か月以上
- b. 未使用査証欄が2ページ以上

またシェンゲン協定では「直近180日間における滞在期間が、最長90日までの場合、入国時ビザは必要ない」とされています。

訪問国が米国の場合、滞在期間に加えて6か月以上のパスポート残存有効期間が求められます。またビザあるいはビザ免除プログラムへの登録が必要となります。

その他の国の事情や詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。

また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

## 一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元 一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)  
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

## 「フィリピン、ベトナムにおける防衛産業事情と防衛協力に関する調査団」

## 参加申込書

一般社団法人日本技術者連盟 行き

フリガナ			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先	ご住所	〒 -	
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	ご住所	〒 -	
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日	年 月 日	
強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり （ ） ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください		
語学力	英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など ( )	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ ( )	
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）		

## 個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

## 1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

## 2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

## ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

## 企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)

## 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940